

多目的流し

S-21S

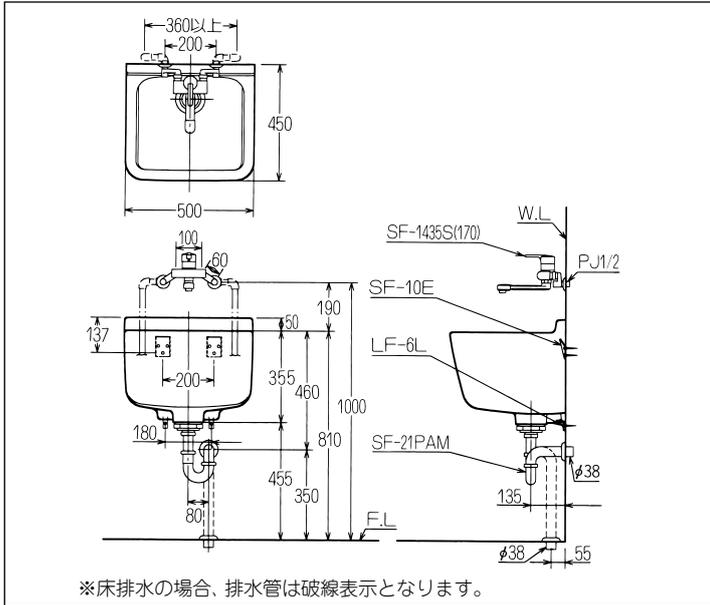
SF-21PAM

SF-21SAM

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この施工説明書をお客さまにお渡しください。

●施工完了図

※水栓金具、排水金具、バックハンガー、AYボルト等は別途手配になります。
※水栓の取り付けは水栓施工説を見てください。



※床排水の場合、排水管は破線表示となります。

●安全上のご注意

- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工終了後、正常に作動することを確認するとともに、お客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この施工説明書は、お客さまで保管頂くよう依頼してください。

用語の解説

注意 ...「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠ 注意

- 施工前に輸送中の破損がないことを確かめる。
施工後に施工段階での破損がないことを確かめる。
※破損部でケガをしたり、漏水により家財等を濡らす恐れがあります。(指示)
- 陶器に対するねじは締めすぎない。
※陶器が割れてケガをする恐れがあります。(禁止)
- 施工後に漏水検査を必ず行う。
※漏水により家財等を濡らす恐れがあります。(指示)
- 陶器に熱湯を注がない。
※陶器が破損してケガをしたり、漏水のため家財を汚す原因になることがあります。(禁止)
- 陶器に硬いものを落とさない。
※陶器が破損してケガをしたり、水漏れのため家財をぬらす原因になることがあります。(禁止)
- 陶器にひびが入ったり、割れた場合、破損部には素手で触らない。
※破損部でケガをする恐れがあります。(禁止)
- 陶器にひびが入ったままで使用しない。
※破損部でケガをする恐れがあります。(禁止)

●施工前のご注意

- 商品の表面には、直接工具を掛けないでください。工具を掛ける場合には、必ず商品に布等をあてて保護してください。
- 施工の際には商品の表面にキズを付けないよう十分注意してください。
- 取り付け強度を保つために、下地に18mm以上のJAS規格合板相当をご使用ください。
- 商品を取り付ける前に必ず配管中の異物を完全に洗い流してください。

●施工方法

1. 給排水の位置決めおよび取出し

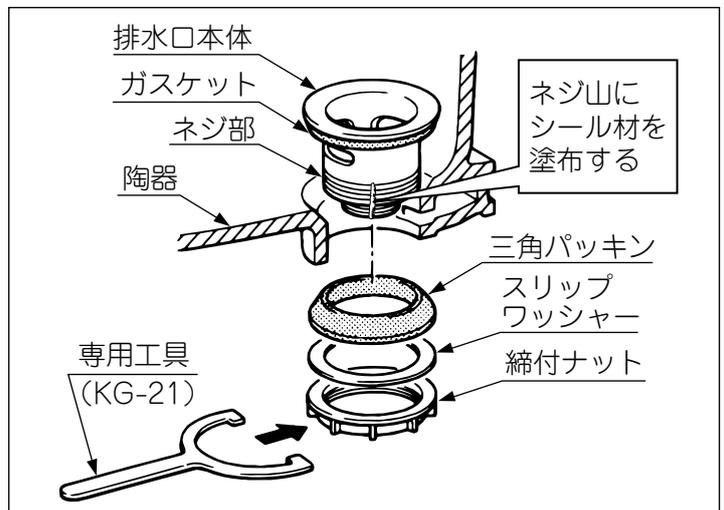
施工完了図に従って給水、給湯管および排水管を取り出します。

◆注意

- 強度確保のため、次のような補強をします。
〔木造壁の場合〕
取付部厚さ18mm以上になるように補強木（JAS規格合板相当）を設けてください。
※補強木は構造体との固定を行ってください。
〔コンクリート壁の場合〕
取付部の奥行きは75mm以上（コンクリート厚40mm以上）を確保してください。
※AYボルト（AY-24(1P)：2本、AY-34(1P)：6本は別途用意ください。
※重量が23キロ以上ありますので、補強が不十分ですと陶器が傾き、鉢の内に水が残ったり、壁の間にすき間が発生する恐れがあります。

2. 排水口の取り付け

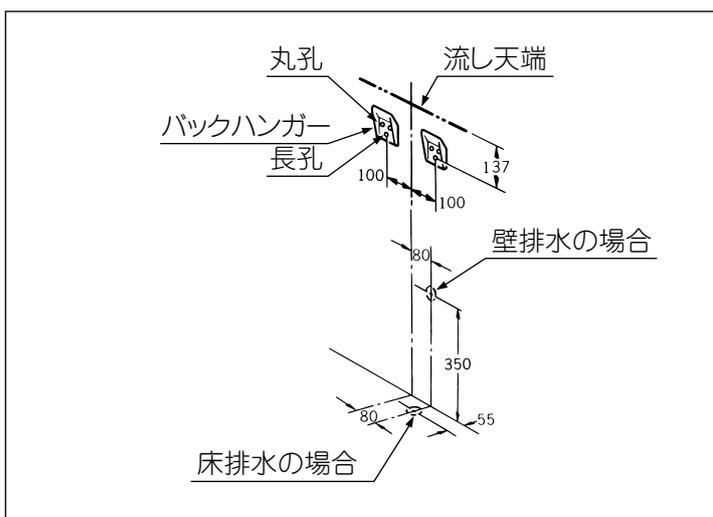
- 漏れ防止のため、ネジ部にシリコン系シーリング剤を塗布し、専用工具（KG-21）を用い、締付ナットで締め付けます。
※取付前に、必ず陶器面の水分、油、ゴミ等はふき取ってください。
※専用工具以外の工具を使用しないでください。
過度な締め付けにより締付ナットが割れる恐れがあります
※ガスケットが排水口本体からはみ出した場合は、取り除いてください。



3. バックハンガーの取付けおよび壁止金具の位置決め

	直径(mm)	深さ(mm)
木ねじ	4~4.5	約45
AYボルト	11~12	約75

- (1)バックハンガーの長孔用の下穴をあけます。
※下穴寸法は上の表を参考にしてください。
- (2)バックハンガーの長孔を利用してバックハンガーを仮止めします。
- (3)流しをバックハンガーに仮据えし、流しの上部を押さえて流しの位置、水平を確認します。
- (4)流しの下部の取付穴に壁止金具を当てがい下穴の位置に印を付けます。
- (5)流しを外します。
- (6)バックハンガーの丸孔の下穴をあけて、バックハンガーを本固定します。
※下穴寸法は上の表を参考にしてください。

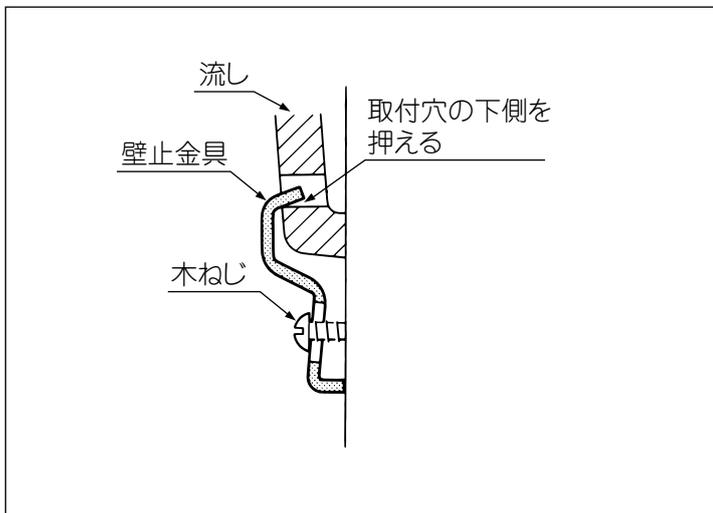


4. 流しの取付け

- (1)壁止金具の下穴をあけます。
※下穴寸法は下表の通りです。

	直径(mm)	深さ(mm)
木ねじ	4~4.5	約40
AYボルト	11~12	約60

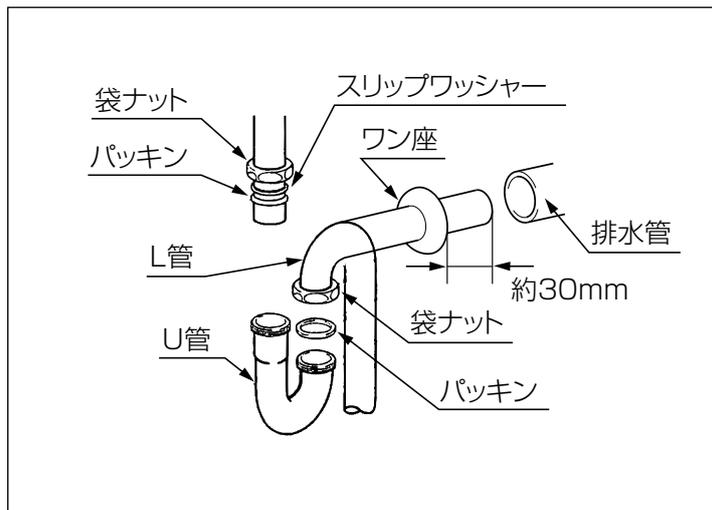
- (2)流しをバックハンガーに掛けます。
- (3)壁止金具を木ねじまたはAYボルト (AY-24(1P)):2本で固定します。



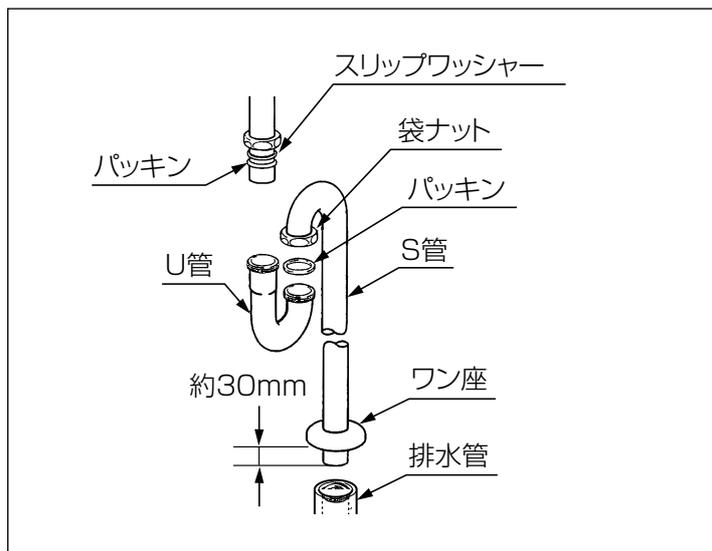
5. 排水接続

排水口と排水管を接続します。
※排水トラップを仮付けて差込しろとして約30mm残してください。

[Pトラップの場合]



[Sトラップの場合]



※40鉛管との接続は、ハンダ付けしてください。
※40排水塩ビ管との接続は、シール材で充てんしてください。

●引渡前の確認

給排水接続部の水漏れのないことを確認します。
※数回繰り返して水を流さないで確認が困難な場合があります。